



園児2人が一日警察署長に

「110番の日」の1月10日、猪苗代警察署では一日警察署長の委嘱状交付式が行われ、猪苗代幼稚園の園児2人に委嘱状が交付されました。

委嘱を受けたのは、年長組の伊関拓也くんと高橋樹香さん。内山保署長は「幼稚園に戻ったら、お友達に交通安全を呼び掛けてください」と話し、2人に委嘱状を手渡しました。

委嘱を受けた2人は、一日警察署長として猪苗代スキー場での啓発活動に出発。署員と協力しながら、スキー客などにチラシや啓発グッズを配布し、正しい110番利用を呼び掛けました。

「署長、あちらにお客さんがいますよ」と署員らが伝えると、2人は元気に駆け寄ってチラシなどを手渡し、お客さんに敬礼。たくさんの人に記念撮影を求められるなど、かわいらしい制服姿が大人気でした。



写真上 啓発活動への出発の前に内山署長に敬礼する伊関くん(左)と高橋さん(中央)。りりしい制服姿がお似合いです
写真下 お客さんにチラシなどを手渡す2人



猪中生3人がメダリストに

このほど行われた「県数学・算数ジュニアオリンピック」で猪苗代中学校の生徒3人がメダルを獲得。吉原大裕さん(2年)が銀メダル(90点以上)、上妻悠人さん(2年)と渡部大寛さん(3年)が銅メダル(80点以上)に輝きました。

算数・数学の学力向上のために小学5、6年生と中学生を対象に県教育委員会が実施したもので、県内の小、中学生約410人が参加しました。

メダル授与式は1月7日、福島市の福島テルサで行われ、金メダリスト(満点)2人、銀メダリスト13人、銅メダリスト26人の受賞をたたえました。

吉原さんは「学校で出される問題よりも難しかったけど、楽しく解くことができました」、上妻さんは「普段の問題よりも難しい問題ばかりでした。銅メダルをもらえて光栄です」、渡部さんは「頭を使う問題を解いて楽しかったです」と話しました。



写真上 メダルに輝いた(左から)上妻さん、吉原さん、渡部さん
写真下 会津で7人のメダリストのうち、3人が猪苗代中生という快挙を成し遂げました

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



児童らにスキー用具を貸与

猪苗代スキークラブは1月11日、町内に避難し小学校に通う児童ら16人にアルペンスキーセット一式を貸し出しました。

町内の小学校では、体育の授業の中にスキーを取り入れています。浜通りや中通りのほとんどの児童はスキーの道具を持っていないため、昨年に続き同クラブが協力を申し出たものです。

貸与式は同日、猪苗代小学校で行われ、同クラブの五十嵐憲雄会長と神田功副会長が、同校の児童5人にスキーセット一式を手渡しました。五十嵐会長は「猪苗代では冬に雪が降り、スキーができる。スキーを学んで、楽しい思い出を作ってください」とあいさつ。児童を代表して同校の西山かやのさん(3年)が「大好きなスキーができると楽しくて仕方ありません。頑張って練習をして、上手に滑れるようになります」とお礼を述べました。



写真上 貸与式に出席した児童と五十嵐会長(後列左から1人目)、神田副会長(同4人目)ら
写真下 「練習して上手に滑れるようになります」とお礼を述べる西山さん



人権作文コンテストで入賞

このほど開催された第32回中学生人権作文コンテストで、県大会の奨励賞に東中3年の柴田彩乃さんが、若松人権擁護委員協議会表彰の奨励賞に同校1年の高橋星那さんが選ばれました。

表彰伝達式は12月14日、同校で行われ、福島地方務局若松支局の中村吉光支局長が2人に表彰状と記念品などを手渡しました。また、学校を挙げてコンテストに取り組んでいる同校に福島地方務局長・県人権擁護委員連合会長感謝状を贈りました。

奨励賞を受けた柴田さんは「作文で賞をもらうのは初めてなので驚きましたが、とてもうれしいです」と受賞を喜びました。

伝達式には町内の人権擁護委員らも出席。猪苗代地区部会の鈴木壽典会長は「人権に関心を持つ人が少ない中で、生徒が人権問題に関心を持ち受賞できたことを大変うれしく思う」と話しました。



写真上 中村支局長から表彰状を受け取る柴田さん(右)。作文には自分がいじめる立場にならないようにという思いが伝わりました
写真下 若松人権擁護委員協議会奨励賞の高橋さん(右)